

町民と意見交換

池田町議会は定数削減問題を中心に、10月5日に町民との意見交換会を行いました。

池田町の議員定数は12名、報酬は18万9400円であり、長野県58町村の議員定数と報酬額を比較すると、ほぼ平均的な数値であることを明らかにしながら、人口減少・町財政の状況・町行財政改革推進委員会の答申・アンケートなどを勘案し、定数を1減とする「議案案」を提案しました。

参加者からは削減に賛成する声が多かったようでしたが、過去2回連続で町議会選挙が無投票に終わっていることを問題視し、若者をはじめ



多様な世代が立候補できるような方策を立てること。議会を休日や夜間も開催すること。また給食費の無償化を早期に実現すること。副町長人

国の原子力政策

原発推進へ「政策転換」

9月に入り急に首相は、原発の新増設や再稼働促進の動きを活発化させています。

原発は制御できないエネルギーであることは福島第一原発事故で実証されているのに何故でしょうか。停電、炉心溶融、水素爆発を起こし、停止してもずっと核燃料を冷やし続けなければならぬ高いリスクがあります。

しかも専門家は、日本の原発は1基5千億円と安く危険性が高いと説明しています。ヨーロッパでは1基1兆5千億円かけているとの事です。首相は、原発推進は電力ひっ迫の為と言いますが、今や各地域で再生可能エネルギーが余り、電力会社が抑制を求

事案を認めず、空白となっている状況は正常ではない。などの議会の在り方に対する意見も多く出されました。(中島 牛越邦夫)



めている例を聞きます。また使用済みの核ゴミ処理の巨額のツケはだれが支払うのでしょうか。

怖い疑問がもう一つ、原発の運転期間は原則40年で、最長60年とされていたルールを今後撤廃する方針とのこと。長期運転の安全性はだれにもわからないのです。首相の唐突な推進表明は疑問だらけです。後世のためにも脱原発を進めて欲しいと願っています。(3丁目 薄井百子)

読者の声

国葬に反対する理由

安倍元首相の「国葬」前日のテレビで、「国葬」反対について報じられていました。その中で、「明日、行われるのに、今反対するなんて、なんか意味あるの?」と言っていた人がいました。

そういう人は岸田政権にとっても都合のいい人です。法律がなくて実行しても、文句を言われない。予算をいくらか使っても事後報告でいい。「国葬」に値する人かどうかは、それらしいことを並べれば済む。静かに送ってあげましょうといえれば納得する。でも、そんな政権を呑み込みにしているとあなたの住む近くに原発がつくられたり、米軍戦闘機の離発着訓練場がで

文芸欄

今日は川柳です

「腹くくる」思い届かぬ腹の中
耳ふさぎ手のひら返りは岸田技
秋深しセーター出したり半袖出したり 守正

徳子
山茶



部内資料

発行責任者 太田 勅 (62-5727)
議員連絡先 薄井 孝彦 (62-5093)
編集責任者 山本 久子 (62-4357)
山本 久子 (61-1066)

内閣支持率急落 27・4%

安倍国葬や旧統一協会が原因か

時事通信の世論調査によると、岸田内閣の支持率は27・4%まで下落し、「危険水域」といわれる3割を割り込み、永田町に衝撃が走っています。

岸田首相は新自由主義経済による格差拡大の是正や、「聞く力」を看板に登場しましたが、首相就任後は安倍路線に急接近し、強引な政治、国民無視の政治が目立っています。

安倍元首相の国葬については、銃撃事件6日後に独断で国葬とする事を発表しました。「法の下の平等」や「思想信条の自由」等を規定した現憲法では、国葬など特別扱いは許されません。

これを踏み破って国葬を決めた



野党国対ヒアリング 10/17新聞赤旗

ことに反対の声がどんどん高まり60%以上となりました。「葬儀が終われば国民はわすれる」と自民党関係者はうそぶいていたのですが、今でも反対は60%を超えています。岸田首相は今後の国葬の在り方を決めておきたいと言っていますが、国葬そのものが許されない事は明白です。安倍元首相銃撃事件で旧統一協会と自民党、維新の会等との関係が改めて問題となっていました。特に自民党は国会議員や地方議会議員の多数が長年にわたり関係をもってきました。岸田首相は反社会的団体である旧統一協会と手を切ると表明しましたが、各議員が自主的に申告する事として、それ以外は何もしない態度です。若者が学校や会社を突然辞めて家族と連絡を絶つてしまう「親泣かせの原理運動」、つばや印鑑を高額で売りつける霊感商法、集団結婚式、実の親をサタ

ン(悪魔)と称し「文鮮明夫妻こそ真の父母」と信じこませる、自己破産に至るまで献金を迫るなど、数々の反社会的活動を行ってきた旧統一教会は自民党の安倍派の保守層に深く浸透してきました。旧統一教会の政治部門である国際勝共連合は右翼の大物だった笹川良一や児玉誉士夫・岸信介元首相らが発起人となっています。統一教会の初代会長の久保木修己氏は著書で「岸先生に懇意にして戴いた事が勝共運動を飛躍させる大きなきっかけになった」と述べています。岸く安倍晋太郎く安倍晋三3代にわたって庇護育成、利用してきました。この関係を断ち切るには、安倍元首相や細田議長の間接、被害者救済を含め、超党派組織での対応が不可欠です。また国民の生活は諸物価高騰で日に日に圧迫されてきます。国民の苦しみをよそに、軍事費2倍化へと動き出すなど、岸田首相の「聞く力」は国民の声ではなく大企業やアメリカ、金持ちの声なのではないか。国民の声を無視し続けるならば岸田内閣は退陣させましょう。

コラム

私が所属している松本協立病院の健康友の会では、コロナが発症してから様々な活動が制限されてきました。しかし10月と11月の2ヶ月間各自で目標を決めて取り組み「健康チャレンジ」は続いています。

今年も・ウォーキング・ラジオ体操・ストレッチ・禁酒・禁煙などに多くの会員が取り組んでいます。会員の家族の小さいお子さんが参加するキッズチャレンジもあります。▼今年には友の会本部の特別目標として「毎日誰かと会っておしゃべりしましょう」が加えられました。会員も高齢化が進み一人暮らしの方も多いため閉じこもりがちになります。「心の健康はおしゃべりから」ということでしょうか。▼「自宅で急に具合が悪くなり、亡くなっていた」ということも都会だけでなく地方でも起こっています。まずはご近所同士が顔を合わせたら挨拶を交わす関係になり、そこからおしゃべりに繋がったと思います。



マイナンバーカード 本当に大丈夫?

2024年に健康保険証をマイナンバーカードにするって? 「高齢の両親が具合悪い時にすぐ医者を受診できる様、コピーした保険証をいつも持っているけどそれは使えないの?」と友人に聞かれました。カードを無くした場合1カ月かかるのか。疑問だらけです。(60代女性)